



(株) アスコ 東北支店
高橋 吉信

ふるさと回想録

株式会社アスコ東北支店 営業の高橋吉信と申します。皆さま、よろしくお願い致します。

今回、みちのく寄稿文の御依頼を受けまして、私の生まれ育ったふるさとを皆さまに御紹介いたします。

私は福島県会津の出身で、福島県大沼郡三島町で生まれ、地元中学校卒業まで実家にて育ち、高校入学を機にふるさとを離れ現在に至っております。

三島町は福島県の西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川沿いにある山間の町です。十八か所に集落が点在し、冬は積雪が二メートルを超えることもある豪雪地域であります。古くから「会津桐」の産地として知られ、町内随所に植えられており、春には一斉に薄紫の花を咲かせます。また、只見川に沿って JR 只見線が走り溪谷と鉄道の織りなす四季折々の風景を見ることが出来ます。雪国ならではの民具作りの知恵や暮らしに根付く民族行事が継承され、町民が守り継いできた文化を大切にしている町です。

今回、我がふるさとで何を PR してよいか即答できるものは特に思いつきませんでした。ふるさとを離れ、お盆または正月に帰省する際に感じることは、春夏秋冬の自然の素晴らしさだと思います。各季節の見どころまたは民族行事等について御紹介いたします。

春

山々が一斉に芽吹き、モクレンの白い花、山桜、カタクリの淡いピンク、桐の薄紫と里山が真っ白な雪の世界から解放されて色とりどりの木々の眩しさを感じとれます。雪国

から春が来たことの瞬間を目のあたりに体験することが出来ます。また、町内を流れる只見川は水温と気温の差が大きい朝夕や雨上がりに川霧が発生し、霧と緑の木々が醸し出す幻想的な雰囲気味わえます。只見川沿いには2箇所の温泉地があり、雄大な只見川の流れと木々の緑を眺めながらの湯は格別であり、日々の疲れを癒してくれます。民族行事として伝統的に守り継いできた「虫送り」という行事が春に行われます。

「虫送り」とは、農作物の害による虫を追い払う目的で行われる行事で、地元の子供たち（中学生）が中心となり掛け声を上げながら提灯と共に集落を練り歩きます。（重要無形民俗文化財指定）私も子供の頃参加し、1週間前からの準備をすることが、大変楽しかったことが思い出されます。

夏

360度山々に囲まれており、盆地と同じ地形の為、日中は大変暑く、朝夕冷え込んでいた記憶が鮮明にあります。只見川の朝霧の中、JR 只見線で観光列車として時折走る蒸気機関車が只見川を渡る光景は鉄道マニアでは有名スポットであり、カメラを持ったマニアが目当てのスポットでシャッターチャンスを待ちかまえている光景があちらこちらで見受けられます。そんな環境化の中で魚釣りや野山を駆け回って遊んでいたところが懐かしく思い出します。

秋

山々が鮮やかな紅葉で色づく季節です。秋の恵みを味わう季節でもあります。山間地により、水田の耕作面積が狭いため、至るところでそばを栽培しております。地元の方が丹精込めて打つそばは三立てと呼ばれ、ひき立て、打ち立て、茹でたてで、こしが強いそばを味わうことが出来ます。香りが抜群の新そばを会津地鶏を使用した地鶏けんちんそばや高遠そば（だいこんの絞り汁）は最高です。また、近郊の山々でとれた多種多様なキノコをふんだんに入れたキノコ汁は地酒との相性がばつぐんで、酒の量が進む一品です。子供の頃、秋といえば、集落の柿を取ったり、山々でアケビを取ったり、山が遊びのフィールドでした。余談になりますが、私は小学校の修学旅行で生まれて初めて海（日本海）を見ました。

冬

1年で最も長い時間を過ごすのが冬です。約5カ月は雪の世界で暮らします。そんな過酷な環境化の中でも、たくましく暮らしています。農作業が終わった冬には自然から頂いた素材を用いて自らの手で民具等を作成します。奥会津編み組細工は平成15年に伝統的工芸品に指定され、生活のための伝統工芸です。（かご、ざる等）私はもちろん一面が雪景色のため、当然スキー、かまくら、雪合戦と雪に関する遊びで夢中になっておりました。

また、民族行事として小正月に「サイノカミ」が各集落で行われます。「サイノカミ」は五穀豊穡、無病息災、村中安全を祈願する行事で長年伝えられた行事の一つです。
(こちらではどんと祭に似た様な行事です。)

以上、各季節別に我がふるさとを御紹介いたしました。様々な魅力ある三島町ですが、人工の減少をおさえることが出来ない現状です。現在人口1,794人、高齢化率47.4% (福島県内3位)

全くの限界集落です。私の小学校、中学校の同級生は男女合わせて13人で、ほとんどは他県または他市町村で生活しているのが現実です。我が母校も学校統合により既に廃校となっております。さびしい限りです。

ただ、現実としてその地域で生活をしている方々がおられます。私たちが携わっている社会インフラ整備においても、特に上下水道事業に関しては重要なライフラインであり、過疎地域に生活している住民のためにも、社会的使命は大きいと考えております。

今後もふるさとを考えながら、社会的責任を感じながら業務に邁進いたしと考えております。

今後とも、よろしくお願ひ致します。